【坂出市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本市が教育大綱に基本理念として掲げている「新たな価値を創造し、ともに未来を切り拓く人づくり」を踏まえ、児童生徒の生きる力を育む学校教育を引き続き推進する。

目標として、「確かな学力の育成」を目指し、ICTを活用した教材やアプリの導入によって、学習意欲の喚起、個別最適な学習と時間や場所にとらわれない協働的な学びを実現し、これらを通じて、主体的・対話的で深い学びを育むことを目指している。

2 GIGA第1期の総括

- (1) 環境整備の進展／市内小中学校において児童生徒ならびに教員用1人1台端末の整備完了。同時に、校内ネットワーク環境を整備し、全教室で安定した通信が可能な状態を構築した。
- (2) 端末を活用した学習の広がり／児童生徒がプレゼンテーションや共同作業を行うことでの協働的な学びの推進や、AIドリルの活用によって個別最適な学習の実践を進めることができた。
- (3) 教員の指導力向上と校務の効率化／ICTの活用を前提とした授業設計が求められる中、教員のスキル向上に向けた研修を継続的に実施してきた。
- (4) GIGAスクール運営支援センターによる学校支援／ICT支援員3名を各小中学校に派遣し、児童生徒ならびに教員のICT活用力の向上を図った。
- (5) 課題と今後の展望／第2期に向けて課題として、①「端末活用の格差／学校や教員によって活用度に差があり、さらなる研修や指導の工夫が必要」、②「情報モラル教育の強化／SNSのトラブル防止や著作権意識の向上を含めた指導の充実」、③「持続可能なICT環境の整備／端末やネットワーク機器の更新計画を策定し、安定した運用を確保」、④「家庭学習との連携／学びの継続を可能とするための端末活用による家庭学習の定着」を解決し、ICTを効果的に活用しながら坂出市立小中学校の「笑顔あふれる学校づくり」を実現していく。

3 1人1台端末の利活用方策

- (1) 授業における活用の深化・拡充
- (2) 家庭学習や宿題での活用の定着
- (3) ICTスキルの向上と校務の効率化
- (4) 情報モラル・セキュリティの強化
- (5) 地域・保護者との連携

これらの方策を組み合わせることで、1人1台端末を最大限活用し、GIGAスクール構想による「1人1台タブレット端末」の日常的な活用を引き続き進め、個別最適な学びを具現化する。